

令和3年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第9回議事録（要旨）

日 時：3月24日（木）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 11名（中里委員長、小餅副委員長、牛田委員、大上委員、北山委員、佐藤委員、島津委員、高橋委員、田村委員、寺尾委員、元田委員）

事務局 4名

1 開会

2 議題

（1）研修会動画の公開について【資料1】

・事務局より「公文書からわかる武蔵野の戦争と平和」研修会動画の公開について説明。

【委員】なぜ実行委員や市職員のみへの限定公開なのか。たくさんの人に観てもらった方がよい。せめて学校の先生や管理職などへ公開してはいかがか。

【事務局】講師には限定での動画公開ということで了承をいただいた。実行委員より意見があったことを伝え、了承を得られれば動画を活用したい。

（2）令和4年度 憲法月間記念行事について【資料2】

・絵手紙の実行委員会賞を選出。

・書道の2年連続優秀賞受賞作品の取り扱いについて確認。

・事務局より憲法月間記念行事について説明。

【事務局】昨年度優秀賞を受賞した書道作品について、①実行委員賞②入賞として扱うなどの対応をとりたい。

【委員】実行委員賞とすると、毎年作品を応募いただいた場合に困るのでレジェンドや殿堂入り作品とするのもいいと思う。

【副委員長】毎年作品を応募される方もいるか。

【事務局】いる。入選作品として扱うのはいかがか。

【委員】とても優秀な作品を入選とするのは、本人のモチベーション低下につながる。特別賞などを与えるのもいいと思う。

【事務局】特別賞の定義をどのようにするか。

【委員】連続優秀賞受賞かつ目を見張る作品を特別賞としたい。

【事務局】2年連続優秀賞の場合に特別賞とする。

【委員】特別賞を受賞しても3年目以降も作品は応募できるか。また、その場合どのような対応をとるか。

【事務局】3年目以降も作品を応募していただけるようにしたい。特別賞を設けるが、詳細については検討したい。

（3）令和4年度 夏季平和事業について【資料3】

・事務局より夏季平和事業（案）について説明。

【委員】場所はプレイスで、もっと広い会場はないということか。子ども向けに、夏

休み自由研究として戦争体験談を聴きにきてもらうのはどうか。以前、中島飛行機武蔵製作所のジオラマを展示したのは良かった。歴史館とタイアップして何か取り組むのもいいと思う。映画「ヒロシマへの誓い サロー節子とともに」は高校生と観たが、感動的で評判が良かった。是非観てほしい。

【事務局】基本的にはプレイスだが、はなこみちなどを活用して、日常に溶け込むように戦争関連の展示物を観てもらう機会をつくれるとよい。

【委員】白黒写真の色を再現する取り組みが以前行われていたが、完成品だけでなく再現過程が実はおもしろい。何か別の表現方法もあるとよい。吉祥寺駅自由通路に通行人が気になるものを展示できるとよい。

【副委員長】新しい案などあれば是非事務局へ。

(4) ロシアによるウクライナ侵攻に関する対応について【資料4】

・事務局よりロシアによるウクライナ侵攻に関するこれまでの市の対応、平和を願うミニコンサート実施について説明。

【委員】是非演奏の映像をYouTubeでも観られるようにしてほしい。

【事務局】JRや庁内関係部署に確認が必要だが、事務局としてもできたらと思う。

【委員】3駅頭でも演奏をしていただくのはどうか。

【事務局】武蔵野文化事業団が主体となるので、有料の予定。

【委員】3月に老人クラブでカテリーナさんに演奏していただいた。1時間ほどの演奏会だったが、弾き語りやアカペラでのふるさとなど、とても好評だった。

【委員】素早い対応で良かったと思う。今後も情報を発信していきたい。

【委員長】募金箱の設置にあたり、日本語が分からない方向けの言語表示があるので必要であれば活用できる。

(5) 1年間のふり返り

【委員】1年間ありがとうございました。今年はイベントができて良かった。来年度はPTA枠で参加したい。

【委員】過去5年の夏季平和事業を振り返ると全てに少しずつ関わることができた。国際交流協会からは毎年1名出ており、来年度も手を挙げている。この1年も戦争体験者のお話を聴くことができた。委員の皆さんに親しみも沸き、作業の楽しさもあった。

【委員】1年間ありがとうございました。大学生枠として、若者視点から関わらせていただいた。

【委員】今年は平和の日条例制定10周年で節目の年、そして来年度は非核都市宣言40周年。大学生枠で、かつて青少年平和交流派遣団に関わった若い方が参加してもらえたのも嬉しかった。

【委員】1年間が早く過ぎていき、残念なこともあった。企画が映画に頼ってしまっている部分があると思う。みんなが関心のあることや、外からの情報を発信すべきではないか。

【委員】コロナ禍でも去年よりはイベントができたが、不完全燃焼な部分もある。委員公募は抽選ではあるが、来年度も是非委員として活動したい。

【委員】初めて平和実行委員会に参加させていただいた。馬場あき子さんのお話を直

接聴くことができたことが印象的。

- 【委員】2年お世話になった。老人クラブの人事運用の関係で、気持ちとしては続けたいが、来年は他の方が参加される予定。色々勉強させていただいた。
- 【委員】休みながらも初年度から参加させていただいている。テレビでウクライナのことをやっている、戦争のことを思い出す。ウクライナでは隣国へ避難する方がいるようだが、日本ならどうなるのかと思う。皆さんと平和を守っていききたい。
- 【副委員長】第六期長期計画に平和の文字が入り、大きく変わったなと感じた。なかなか新しい意見が出ない時期もあったが、今は活発に意見が出され、若い方も参加してもらえてよかった。子どもや孫に何を残すかを考えたときに、平和に過ごせる環境をつくることだと思う。
- 【委員長】戦争に関するものを後世に残したいという意見から、平和観音をつくった過去がある。最近では学校で戦争の話をするのが少なくなってきた。自由研究として戦争関連のことを学ぶ子どもも減り、学校の先生もあまり興味がないように思う。戦争に関する様々な資料が集まってくるので、資料室のようなものや目録をつくれたらいい。是非来年もよろしくお願ひします。
- 【事務局】武蔵野市平和の日条例制定10周年ということで、できたイベント、できなかったイベントあるが、いい1年だったと思う。武蔵野市が平和を発信する都市として活躍できることを期待している。
- 【事務局】武蔵野市平和の日条例制定10周年で大石芳野さんの写真展をできて、非常にいいものになった。写真展で見たような光景が繰り返されてしまうことのないよう、多くの人目に触れる機会ができてよかった。来年度もお力を貸していただきながら、新たなチャレンジもしていきながら進めたい。
- 【事務局】長崎に行けなかったことは非常に残念。大石芳野さんの写真展を、敷居を低くして多くの方に観てもらいたいという気持ちで開催した。単独よりも様々な団体との関係を築きながら事業を展開していくのがよい。また、後世に残していくものを、新しい角度から行いたいという思いで取り組んだ。青少年平和交流派遣団の方などは平和についてのイメージが違ったりする。私自身は戦争の体験談を直接聴くことのできる最後の世代で、今は戦争の話を通じて聴いていない世代の方が親となっている。新たな10年に向かって考えていきたい。
- 【事務局】1年後皆さんにいい活動ができたと言ってもらえるように事業を進めたい。来年度委員でない方も是非お客さんとしてイベントに参加していただきたい。

(6) その他

- ・事務局より今年度活動の感想文の作成を依頼。200～300文字程度で作成し、4月15日（金）までに事務局へ。

3 閉会